

化学バイオ工学科（旧応化・旧生応化・旧バイオ）

化学バイオ工学科の近況



工学研究科教授・化学バイオ工学科主任教授

北村 昌也

卒業生の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。まず、化学バイオ工学科の近況です。学科教員の異動としましては、2019年4月に北川大地先生が講師に、10月には佐藤絵理子先生が教授に、尾島由紘先生が准教授にそれぞれ昇任なさいました。また2019年4月から松山嗣史先生および神戸正雄先生を特任助教としてお迎えいたしました。しかし、神戸先生は、10月に大阪大学に転出なさいましたので、2019年10月時点の学科教員は、特任を含めまして23名となっております。その中で長崎教授は工学研究科長として2年目で、新大学の開学に向けた舵取りに奔走されています。次に、学科教員や学生・院生の受賞ですが、国際学会やシンポジウムでの奨励賞やベストポスター賞など、枚挙に遑がありません。特筆すべきものとして、辻教授が日本分析化学会2019年度学会賞を、尾島

准教授が南部陽一郎記念若手奨励賞を受賞されたことをお知らせいたします。

最後に学生の進路ですが、今年も非常に順調に進んでおります。それも卒業生の皆さんが各企業においてご活躍になり、本学、本学科の評判を高めておられることが大きいのではないかと思います。しかし、最近と同じ会社に複数名入社することが常態化しており、個人的には少し疑問に感じております。また、前期博士課程から後期博士課程に進学してくれる院生がおりませんでしたし、社会人ドクターも年々減ってきております。生涯学習が叫ばれる昨今、是非母校にて学び直しをお考えください。

最後になりましたが、今後の皆様の益々のご活躍を祈念いたしますとともに、引き続き本学科へのご支援とご鞭撻をよろしく申し上げます。